

THE WINNING
INVESTMENT
STRATEGIES

勝つ投資
負けない投資

片山晃
Akira Katayama

小松原周
Amami Komatsuhiro

クロスファイブ・パブリッシング

はじめに

世界の金融市場は、リーマン・ショックを境にして、それまでとはまったく別のものに変質してしまいました。

各国の中央銀行は、景気を刺激する手段としてかつてないほど大規模な金融緩和を実施していますが、これが金融市場に「歪み」を生じさせることで、従来の経済学やファイナンス理論では説明のつかない現象を、相次いで引き起こしています。

「社会の二極化」という言葉がより多く聞かれるようになってきたのも、ちょうどこの頃からでした。いわゆる「勝ち組」と「負け組」の差が顕著になってきました。将来の雇用や収入に対する不安は高まる一方です。国の財政や少子高齢化によって先行きに暗雲が立ち込めている日本人にとって、それは尚更でしょう。

もはやあなたの生活を守ってくれるのは、他の誰でもない、あなた自身でしかありません。

本書を手にした読者の皆様の中には、このような危機意識を持たれている方が多いかもしれません。そしてお気づきのように、投資とは、その最も有力な自己防衛手段のひとつ

です。

本書では、「究極」の個人投資家である五月さん（片山さん）と、TOPIXなどの指標に対して「不敗」の機関投資家である小松原、それぞれの立場のトップ・プレーヤーがタッグを組むという、史上初の投資本となっています。

今回、私と五月さんが本書を執筆するにあたって、「投資家にとって最も誠実な本をつくりたい」という共通の思いがありました。投資に関する本は巷にあふれていますが、どれもテクニクに重点が置かれており、投資家が本当に知らなければならぬことについて、言及されていないと感じていたのです。

議論の結果、2人が投資に対してホンネを語ることが、最も誠実な本になるだろうという結論に至りました。投資の「オモテ」と「ウラ」を初めて知る読者の方にとっては、耳の痛いような話も出てくるかもしれませんが、それこそが、私たちが本当にお伝えしたいポイントといえるでしょう。

序章では、我々の自己紹介や、本章へ入る前の導入として、読者へ伝えたいことのポイ

ントをまとめています。

1章から3章は、五月さんが大投資家になるまでの変遷を交えながら、そこで得た貴重な知見や、実際の投資行動まで、実践的な内容を詳らかに解説し、その上で、五月さんから読者の皆様へ、ホンネのアドバイスも盛り込んで頂いています。

4章から6章は、小松原が機関投資家としての立場から、投資をするにあたっての基本的な知識や、銘柄の見方、心構えなどを解説しています。投資家としてのスタートラインに立つために、読者の皆様に、ぜひとも知っておいてもらいたい内容を記述しました。

読み進めるうちに、2人の間で異なる見解を述べているような部分もあるかと思えます。しかしそれらは、もともと私たちが意図したことです。投資の世界には正解が存在しません。よって、どちらの意見が正しく、どちらの意見が間違っているというものではありません。

読者の皆様には、そのようなコントラストも含めて、五月さん流の**勝つ投資**と小松原流の**負けない投資**、**勝つ投資**に、本書を通じて触れて頂ければ幸いです。投資の本質を知りたい、投資のスキルを高めたいと思うすべての方にとって、きっと新たな発見があるでし

よう。

末筆になりますが、本書を読まれた皆様が相場の神様に愛されますよう、心より祈念しております。

小松原 周

CONTENTS

THE WINNING
INVESTMENT
STRATEGIES

はじめに
小松原周

.....

3

序章

投資家になるということ

五月
バイトで貯めた65万円を握りしめて

.....

16

小松原
行きがかりでなったファンドマネージャー

.....

20

五月
個人投資家の強みを生かした投資を

.....

23

小松原 機関投資家の制約

27

五月 あなたの投資手法は株を始める前から決まっている

30

小松原 投機家ではなく投資家になろう

32

第1部

勝つ投資編..... 個人投資家 片山晃(五月)

第1章

デイトレはそろそろ限界かもしれない

右も左もわからなかったデイトレ時代

36

デイトレーダーとしての限界

39

割安株投資に活路を見出す

41

どんなやり方が向いているかは人それぞれ

43

かけられる時間と情熱によって取れる手法が決まる

46

時間も情熱もかけられない人が取るべき手法とは…………… 49

諦めずに続けることが何よりも大事…………… 52

第2章

株式投資で勝つための銘柄選別法

どんな銘柄に投資するのか…………… 56

低PERや低PBRで買っても大きなリターンは得られない…………… 58

投資で最も大事なのは「変化」と「想像力」…………… 61

事実を知ることによって想像力は養われる…………… 65

疑問を持つことで投資力が磨かれる…………… 67

数字の先にあるストーリーを見る…………… 69

興味や感心を幅広く持つことも大事…………… 71

なぜ中小型株に投資するのか…………… 74

買い方、売り方、見分け方のポイント

- 投資で利益が得られる3つのパターン 78
- 「いつか上がる」ではなく、「いつ上がるか」 82
- ストーリーはなるべくシンプルに 85
- アイデアを多数持つことで塩漬けを回避する 87
- 自分の都合でポジションを動かさない 89
- 信じることは疑うことをやめること 91
- チャンスは平等にはやってこない 95
- 自信を積み上げて勝負する 98
- 普遍的な手法というものは存在しない 101
- なんのために投資をしているのか 103

株式投資のキホン

- マーケットが暴落しても心配ない投資とは？……………108
- 株価が何からできているかを「ご存じですか？」……………111
- 理論株価は簡単に計算できる……………113
- 株式とは何でしょう？……………119
- 投資家になるってどういうこと？……………124
- 「投機」と「投資」の違いとは？……………128
- リスクとリターンのバランス感覚……………133
- 大化けする銘柄が眠る場所……………138
- 証券会社の情報は完全に信用できるか？……………141

マクロデータは実はあまり重要ではない……………144

第5章

プロはこうして銘柄を選ぶ

メガトレンドを探せ！……………150

好奇心さえあればトレンドをつかめる……………155

投資したくなる会社とは？（社長編）……………158

投資したくなる会社とは？（組織編）……………163

投資したくなる会社とは？（ビジネス編）……………166

投資アイデアの発見……………169

より詳細に調査する……………174

伸びる会社のサイン……………177

伸びない会社のサイン……………181

ポートフォリオの組み方と 勝つ投資家のメンタル

安く株を買う..... 186

エントリーのポイント..... 187

1 ドルコスト平均法を用いる

2 テクニカル分析を使う

移動平均／一目均衡表／RSI

お勧めは長期投資..... 196

ポートフォリオの基本..... 201

リターンを大きくするポートフォリオづくり..... 204

自分に合ったポートフォリオを組む..... 207

勝てる投資家のマインドセット..... 212

お金の価値と人生の価値..... 216

あとがき..... 投資の魅力とは..... 片山晃(五月)..... 222